

計画事業番号	00406	事務事業名	環境啓発推進事業	担当部署	市民環境部環境課	電話	4111
--------	-------	-------	----------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	環境基本法第25条・第36条、北広島市環境基本条例第17条			
事務事業開始年度	-		個別計画等	第2次北広島市環境基本計画(H23~H32)			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 3 章) 美しい環境につつまれた安全なまち	
	(第 1 節) 環境の保全	
	(施策 4) 環境保全意識の向上	
2 対象	市民、事業者	
3 目的と内容	自然環境を考えるきっかけづくりや地球温暖化防止に関する教育を推進するため、市民団体等と協働して各種の事業を実施し、総合的な環境啓発を推進する。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	<ul style="list-style-type: none"> ○自然観察会(レクの森等で昆虫・鳥・植物等の観察を行う)【東部・双葉小学校等で実施】 ○野鳥観察会(レクの森で市民を対象とした野鳥観察を行う) ○エコクッキング(小学生を対象に省エネや地産地消に配慮した調理を行う)【双葉・西の里小学校等で実施】 ○エコ講座(小学生を対象にリサイクルや地球温暖化についての講義を行う)【東部小学校で実施】
	29年度	<p>昨年と同様、下記の事業を実施する。</p> <p>○自然観察会 ○野鳥観察会 ○エコクッキング ○エコ講座</p>

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
自然観察会 野鳥観察会 エコクッキング エコ講座	自然観察会(7回、157人) 野鳥観察会(1回、12人) エコクッキング(5回、162人) エコ講座(1回、52人)	自然観察会 野鳥観察会 エコクッキング エコ講座	自然観察会 野鳥観察会 エコクッキング エコ講座	自然観察会 野鳥観察会 エコクッキング エコ講座	自然観察会 野鳥観察会 エコクッキング エコ講座	自然観察会 野鳥観察会 エコクッキング エコ講座	自然観察会 野鳥観察会 エコクッキング エコ講座

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		
1次評価	現状継続	環境を守り大切にする事の重要性や、地球温暖化防止についての理解を深め、地球環境の保全活動等につなげていくために、今後も継続して各種事業を実施していく。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			269		301		301		301	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	110		0		0		0	
		一般財源	159		301		301		301	
	① 合計	269		301		301		301		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.45	0.00	0.45	0.00	0.45	0.00	0.45	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	3,780	0	3,780	0	3,780	0	3,780	0	
総事業費①+④			4,049		4,081		4,081		4,081	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①自然観察会参加人数	目標値 実績値	人 200 157	200	200	200
	②野鳥観察会参加人数	目標値 実績値	人 20 12	20	20	20
	③エコクッキング参加人数	目標値 実績値	人 100 162	100	100	100
	④エコ講座参加人数	目標値 実績値	人 100 52	100	100	100
成果指標	①	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】					
	②	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】					
	③	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	自然環境の保全などを長期的な視点に立って推進しなければならない事業であり、環境基本条例においても市の責務として、施策の実施を義務付けしている。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	2	意識を啓発する事業であることから、適正な目標の達成度合いの数値化は困難であるが、各種事業への参加率は高い状況であり、今後もより一層、意識啓発の推進に向けて有効な事業を展開していく。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	環境のために行動できる人づくりは、その性質上短期間で達成されるものではなく、その成果の判断は難しいが、長期的な視点に立って効率的な事業を検討しながら推進していく。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	必要最小限の予算(講師謝礼、消耗品費等)となっており、これ以上の削減は難しい。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--